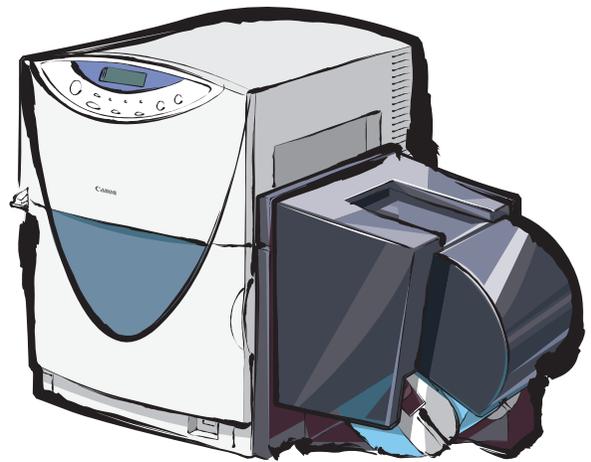
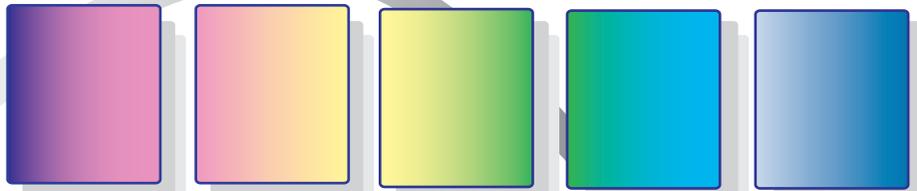


Canon

LX 750

COLOR LABEL PRINTER



まず、はじめにお読
みください。

スタートガイド

- ▶ ご使用前に必ずこのスタートガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、事務所や工場で使用される装置ですが、電波障害規制（VCCI）では、家庭環境でも使用でき得る規制値を満足しています。

お客様へのお願い

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
等

本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。

本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。

本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。

本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標について

本書では、Microsoft®Windows®95、Microsoft®Windows®98をそれぞれWindows 95、Windows 98と略して記載しています。

本書ではMicrosoft®Windows NT® 4.0をWindows NTと略して記載しています。

Pentiumは米国Intel Corporation社の商標です。

Microsoft®、Windows®は米国Microsoft社の米国、および他の国における登録商標です。

Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

本製品には、キヤノンアイテック株式会社によって開発されたソフトウェアが搭載されています。

WPL-Liteはキヤノンアイテック株式会社の登録商標です。 **WPL Lite**

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびはカラーラベルプリンタLX 750をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、本製品を初めてご使用になるときに覚えておいていただきたい情報を説明しています。本機の機能や操作方法を十分にご理解いただき、末長くご使用ください。

掲載画面について

スタートガイドでは、プリンタドライバの設定画面は原則としてWindows 98で使用する場合の画面を使用しています。Windows 95で使用する場合もほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりません。

Windows NTで使用する場合は設定画面が多少異なり、機能によっては操作方法にも若干の違いがあります。その場合は必要に応じてWindows NTでの操作を説明しています。

操作パネルのボタンキー名は、 で囲んで表しています。

例；  キー、  キー

マークについて

スタートガイドでは、次のマークを使用しています。



取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、障害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。



操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

目次

はじめに	1
説明書と CD-ROM の使いかた	3
安全にお使いいただくために	4
同梱品を確認する	10
各部の名称と役割	11
ソフトウェアのインストール	15
用紙のセット	26
インクカートリッジのセット	29
困ったときは	30
仕様	31

説明書と CD-ROM の使いかた

■ スタートガイド（本書）

まずはじめにお読みください。

本製品を安全にお使いいただくための注意事項と、「ソフトウェアのインストール方法」、「用紙のセット方法」、「インクカートリッジのセット方法」について説明しています。

■ プリンタドライバ/ユーザーズガイド（CD-ROM）

● プリンタドライバ

本製品を Windows 95 / 98 または Windows NT で使用するためのプリンタドライバ、および付属ソフトウェアです。

プリンタドライバのインストール方法については本書（→ 15 ページ）をお読みください。

● ユーザーズガイド

本製品の具体的な操作方法を説明した電子マニュアルです。

基本的な印刷手順、メンテナンスの方法、困ったときの対処方法、そして、プリンタ本体やプリンタドライバに関するすべての機能を説明しています。

目次および索引から、目的の項目を表示させることができます。

ご覧になるには、Adobe Acrobat Reader 3.0J 以上が必要ですが、お持ちでない場合は、この CD-ROM に収録されている Adobe Acrobat Reader 5.1 をインストールしてください。

Adobe Acrobat Reader のインストール方法

1. プリンタドライバ/ユーザーズガイドの CD-ROM をパソコンにセットします。
2. Windows の [スタート] メニューで [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. 「d:¥User's-Guide¥AcroReader51_JPN.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
(d:の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブのドライブ名を指定してください。)
4. 画面のメッセージに従って Adobe Acrobat Reader のインストールを行ってください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

保管・設置場所について



警告

本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電・故障の原因となることがあります。

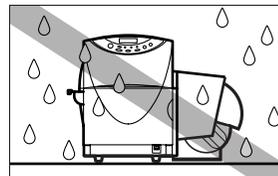
アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。



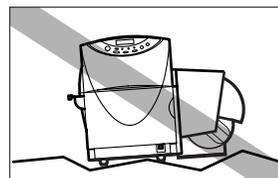
注意

次のような場所でのご使用は避けてください。

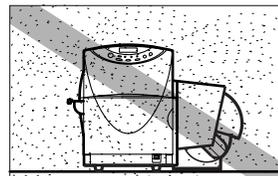
潮風が当たる場所や湿気の多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、部屋を急激に暖めた場合や、暖かい部屋へ本機を移動した場合、内部に水滴（結露）が生じることがあります。この場合は、一時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてから使用してください。



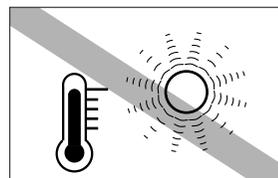
くらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機の上に重いものをのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となることがあります。



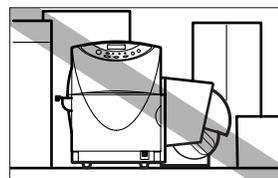
ホコリの多い場所や潮風が当たる場所など塩分の多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、水道の蛇口付近や水気のある場所に置かないでください。感電の原因となることがあります。



直射日光が当たる場所やエアコンの側、車の中などのように、温度変化の激しい場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。

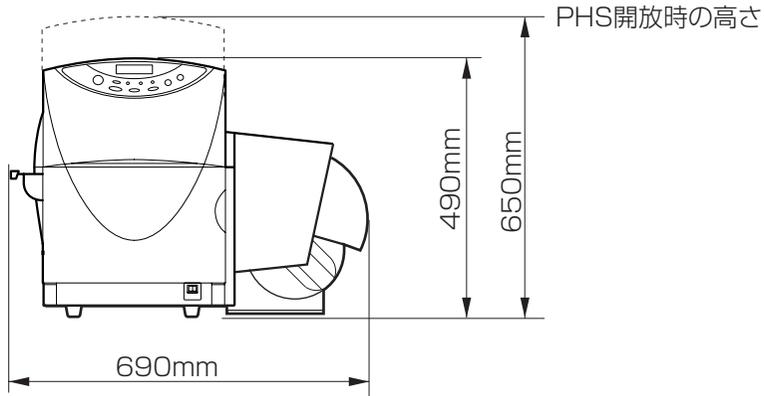


本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。また、いつでも電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

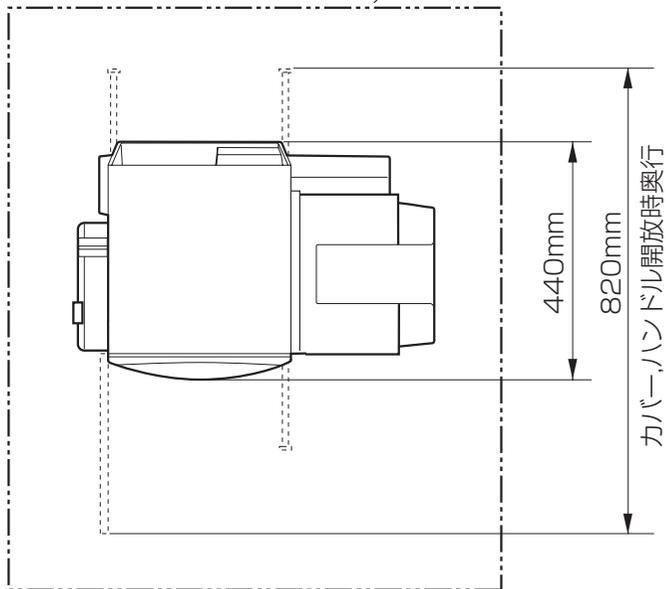


設置スペース

設置スペースは十分おとりください。



設置スペースを十分おとりください



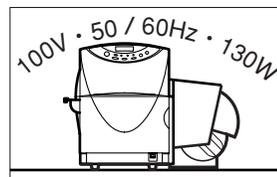
電源および電源コードについて



警告

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、接続するコンセントの電源容量に十分余裕があることを確認してください。火災・感電・故障の原因となります。

電源電圧：	AC100V
電源周波数：	50/60Hz
消費電力：	最大 130W



付属の電源コード以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。また、延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。

タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱させたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

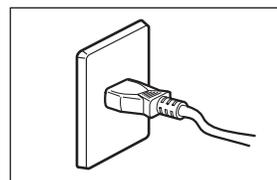
アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

アース線を接続してよいもの

- ・ コンセントのアース端子
- ・ 接地工事（D種）が行われているアース線

アース線を接続してはいけないもの

- ・ 水道管は配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ・ ガス管はガス爆発や火災の原因になります。
- ・ 電話線のアースや避雷針は落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因となります。

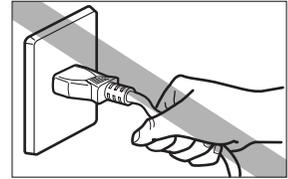




アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



取扱い時の注意について



大量のインク漏れを発見した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機に水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

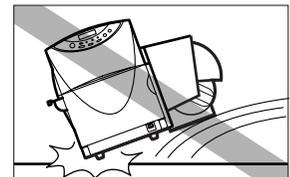
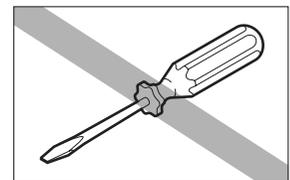
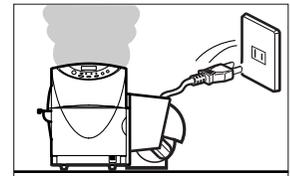
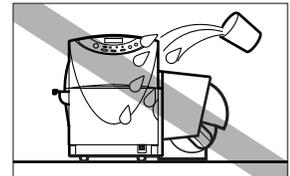
本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

万一、本機を落としたり、破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因になります。

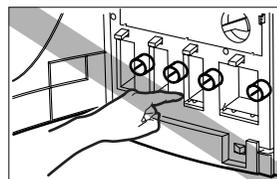
本機を清掃するときは、水または中性洗剤を含ませて硬く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。本機のカバーは外さないでください。感電の恐れがあります。



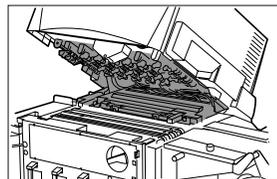


インクカートリッジ挿入部の奥には針部があり危険です。指を入れたりしないでください。けがや故障の原因となります。

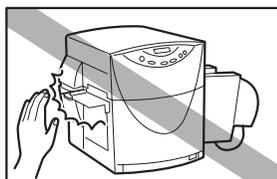
電源コードやケーブル、本体開口部、本体内部のギア・ベルト・ローラ・電気部品に子供が触れないように注意してください。けがや故障の原因となります。



ヘッド周辺（右図のグレー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



ラベルカッターに手や顔をぶつけないように注意してください。けがの原因となります。

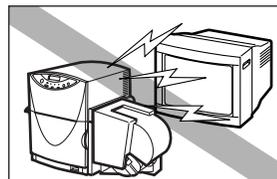


本機で印刷したラベルは、くだもの、野菜などの食品に直接貼らないようにしてください。食品などに貼る場合はラップ等の上に貼ってください。



テレビやラジオ、スピーカーなど、磁気の強いものの近くで使用しないでください。誤動作することがあります。また、テレビやラジオの近くで使用すると、電波受信を妨害することがあります。

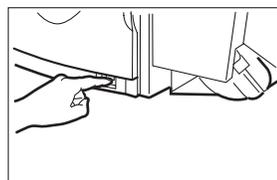
動作中に前ドアを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となります。



電源を切るときは、本機が停止し、節電モードになっていることを確認してからメイン電源スイッチを切ってください。

メイン電源スイッチを切った場合には、5秒以上の間隔をおいてからスイッチを入れてください。頻繁に電源スイッチの入/切を繰り返すと、故障の原因となります。

指定された温度・湿度で使用してください。暑すぎたり寒すぎたりすると本機が正常に動作しないことがあります。



設置環境 : 15°C (湿度 10%) ~ 30°C (湿度 80% 結露なきこと)

印刷したラベルやインクは、紫外線やオゾンにより褪色する場合があります。

移動時の注意について



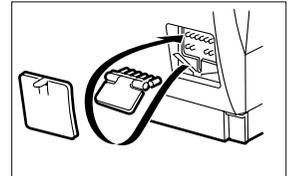
警告

長距離の輸送や振動の伴う輸送（自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。



禁止

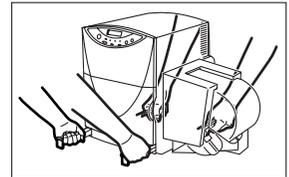
本機を輸送または移動するときは、本体背面にあるサブカバーを開けて、内部のキャップを上側の6穴にしっかり取り付けてください。輸送または移動後はキャップを下側の穴に戻してください。



注意

建物内で本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜き、他の接続線を外したことを確認の上、行ってください。

本機は34Kg以上の重量がありますので、必ず2名以上で移動させて下さい。持ち上げるときは、本体底部に収納されている4つのハンドルを引きだして、ハンドルを持つようにしてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落としてけがをしたり足腰などに障害を起こす原因となります。また、ロールユニットやラベルカッター部を持つと破損する恐れがあり、落としたりしてけがの原因となります。本機は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

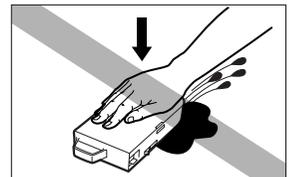


インクカートリッジの取扱いについて

保管の際は子供の手の届かない場所に保管してください。誤飲等の事故につながります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

インクカートリッジは、カラーラベルプリンタ専用のインクカートリッジをご使用ください。他のインクカートリッジを使用すると機械の故障や印字品位が低下することがあります。

インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。内部にはインクが入っていますので、絶対に分解したり改造したりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



使用済みのインクカートリッジは、カートリッジを包装していたビニル袋に入れ、使用場所における各都道府県の条例等に従って廃棄してください。

インクカートリッジは、1年を目安に交換することをおすすめします。また、使用していないカートリッジは使用するときまで開封しないで保管してください。

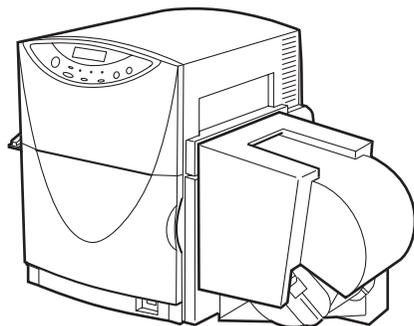
インクが目に入った場合は、直ぐに多量の流水で洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。

インクが皮膚についた場合は、水と石けんでよく洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。

同梱品を確認する

本製品の設置と準備作業は、サービスマンが行います。次のものが揃っているか確認してください。

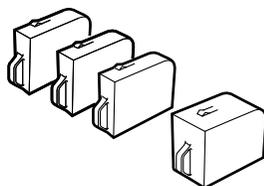
プリンタ本体



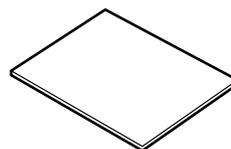
プリンタドライバ/
ユーザーズガイド (CD-ROM)



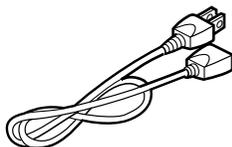
インクカートリッジ※¹



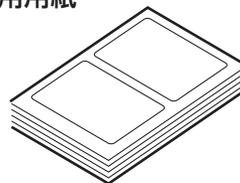
保証書



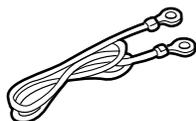
電源コード



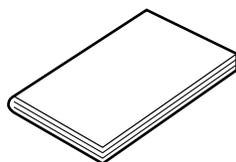
設置時調整用紙※²



アース線



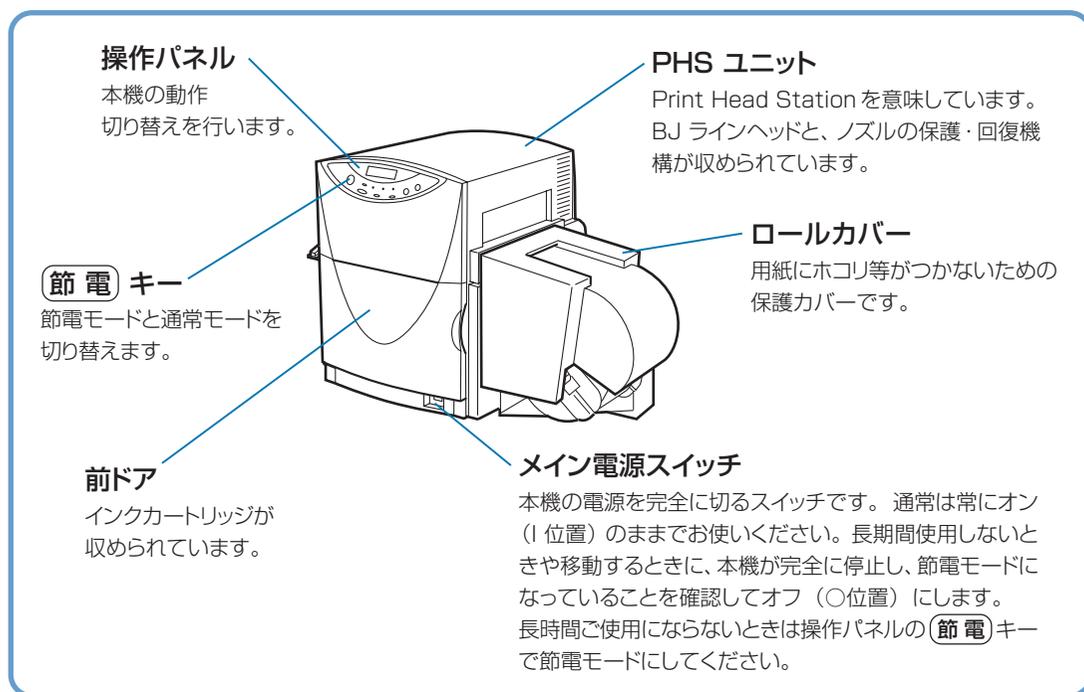
スタートガイド (本書)



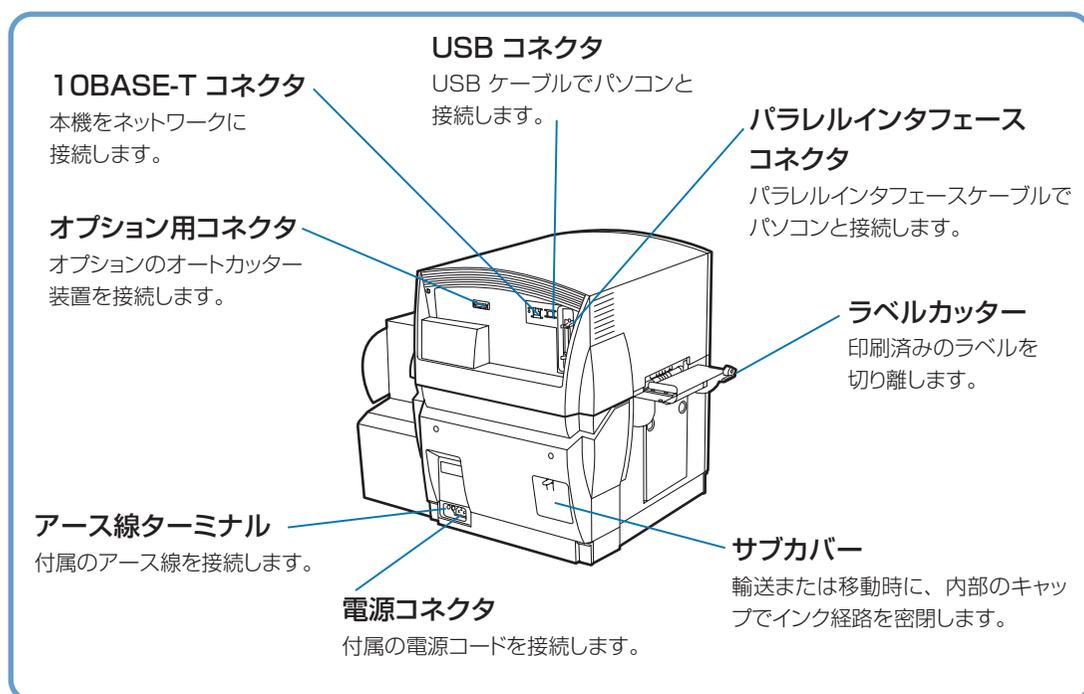
- 1 プリンタ本体には、極少量のインクを入れて出荷します。
このため、付属のインクカートリッジから本体動作に必要なインクが本体内部に留保されますので、初回インクカートリッジの交換時期が早まります。
- 2 調整用紙は、サービスマンが設置時に使用し、設置後に回収します。

各部の名称と役割

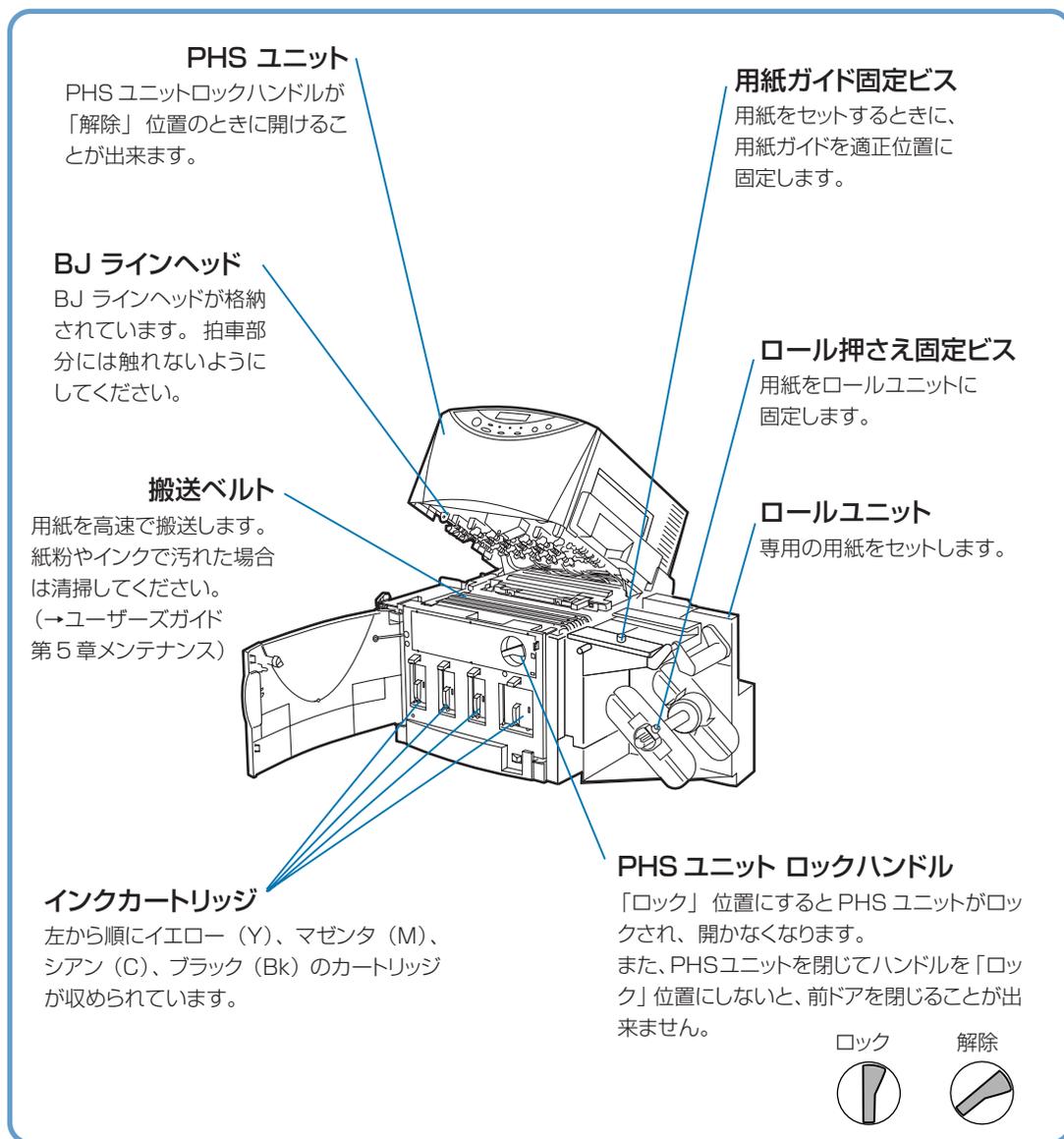
■ 正面



■ 背面



■ 本体内部



禁止

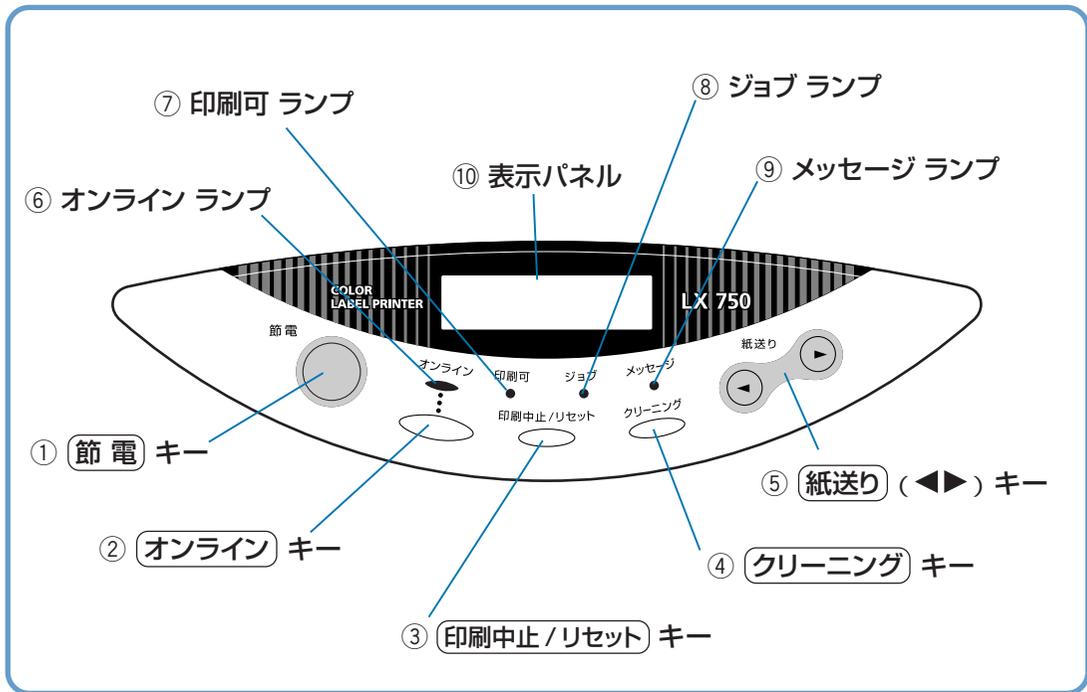
印刷中にメイン電源スイッチで電源をオフにすると、BJ ラインヘッドの保護が正常に行わず故障の原因になることがあります。

電源を完全に切る場合は、操作パネルの **節電** キーを押して節電モードになったことを確認してからメイン電源スイッチをオフにしてください。

通常モードで「前ドア」を開けると、操作パネルにエラーメッセージが表示され、印刷が出来ない状態になります。

PHS ユニートはゆっくり開閉してください。無理な力を加えたり強い衝撃を与えると、故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。

■ 操作パネル



① 節電 キー

プリンタ本体のメイン電源スイッチがオンのときに押すと、通常モードと節電モードを切り替えることができます。

節電モードから1秒程度押すと電源が入り、クリーニング後印刷できる状態になります。

また、通常モードから1秒程度押すとBJラインヘッドが保護され、節電モードになります。節電モード時は印刷可ランプが点滅します。

② オンライン キー

押すたびに「オンライン状態」と「オフライン状態」が切り替わります。

オンライン状態

パソコンからの指示で印刷を行える状態です。オンラインランプが点滅または点灯します。

オフライン状態

パソコンからの指示や印刷データを受け付けられない状態です。オンラインランプが消灯します。

なお、印刷中に **オンライン** キーを押すと、それ以降パソコンからの印刷データを受け付けなくなり、印刷が一時的に止まります。再び **オンライン** キーを押すと、印刷が再開します。

③ 印刷中止/リセット キー

印刷中に押すと、ただちに印刷が中止され、印刷中のデータを破棄します。

また、オフライン状態で3秒間以上押すと、受信した印刷データを破棄します。

各部の名称と役割

④ クリーニング キー

オフライン状態で押すと、BJラインヘッドのクリーニング処理が行われます。

印刷結果にスジ状の部分がある場合などにクリーニングを行うと効果があります。

また、印刷途中でクリーニングを行いたい場合は、**オンライン** キーを押して印刷を一時停止させてから、**クリーニング** キーを押してください。

クリーニング終了後、再び **オンライン** キーを押すと印刷が再開します。

⑤ 紙送り (◀▶) キー

用紙を手動で送ったり、巻き戻したりする事が出来ます。

用紙をセットするときにも使用します。

⑥ オンラインランプ (緑色)

オンライン状態のときに点灯します。

点滅中は、オフライン移行中です。印刷が完了してからオフラインになります。

⑦ 印刷可ランプ (緑色)

電源が入り、印刷できる状態のときに点灯します。

節電モードではゆっくり点滅します。

⑧ ジョブランプ (緑色)

印刷データ受信中に点滅します。

もし点灯している場合は、印刷を中断したときなどに本機に印刷データが残っていることを意味します。

⑨ メッセージランプ (オレンジ色)

本機にエラーが発生しているときに点灯し、同時に表示パネルにもエラーメッセージが表示されます。

⑩ 表示パネル

本機の状態を表す様々なメッセージが表示されます。

ソフトウェアのインストール

付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイド CD-ROM」には、本機を Windows 環境で使うために必要なソフトウェアが収録されています。

ここでは、以下のソフトウェアのインストール（導入）方法について説明します。

- Windows 98/95 用プリンタドライバ
 - ・パラレルインタフェースで使う場合 (→ 17 ページ)
 - ・USB インタフェースで使う場合 (→ 19 ページ)
- Windows NT 用プリンタドライバ (→ 21 ページ)
- ステータスマニタ (Windows98 用) (→ 24 ページ)
- CAILPR ソフト (Windows98/95 用) (→ 25 ページ)



メモ

本機を10BASE-Tで、ローカルエリアネットワークに接続した場合のネットワークおよびネットワーク用ソフトウェアのインストールおよび使用方法については、「プリンタドライバ/ユーザーズガイド CD-ROM」収録のマニュアル（「Pnconfig for Windows 操作マニュアル」および「NetWare ユーティリティについて」）をお読みください。

動作環境について

コンピュータ本体

Intel Pentium(TM)以上のCPUを搭載した Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0 が動作するパーソナルコンピュータ。

基本ソフトウェア

Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、および Microsoft Windows NT4.0 日本語版

※ USB インタフェースは Windows 98 のみ対応です。

ハードディスク

インストール時に 30M バイト以上の空き容量が必要です。

CD-ROMドライブ

プリンタドライバのインストールやユーザーズガイド CD-ROM を読むために必要となります。

推奨インタフェース

1. USB (Windows 98 のみ対応)
2. 10BASE-T
3. パラレルインタフェース

※同時に複数のインタフェースに接続して使用することができます。

One Point

USB : Universal Serial Bus の略で、コンピュータと周辺機器を接続するシリアルインタフェースの規格です。

セントロニクス : コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。本プリンタでは、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284準拠の双方向通信が可能な方式を採用しています。

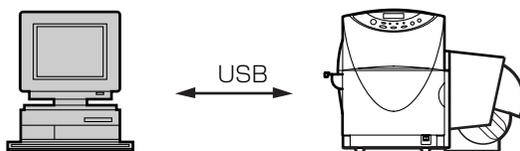
10BASE-T : IEEE802.3で規格化されたLANのインタフェースです。コンピュータ側にTCP/IPプロトコルの設定が必要となります。

IP アドレス : ネットワークに接続されたコンピュータの住所に当たる数列のことをいいます。

接続方法（推奨構成）について

スタンドアロン構成

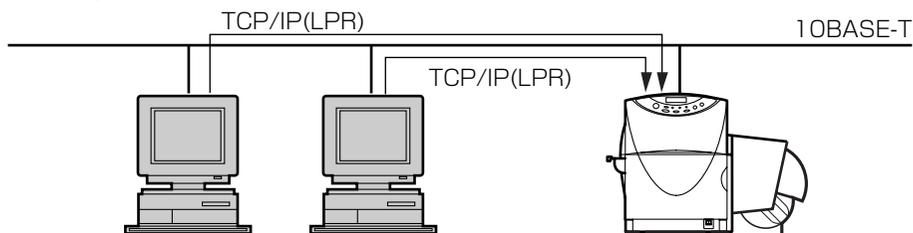
(Windows 98)



Windows 98クライアントに「プリンタドライバ→LX 750」「ステータスマニター→LX 750」をインストールします。

ネットワーク構成

(Windows 98)

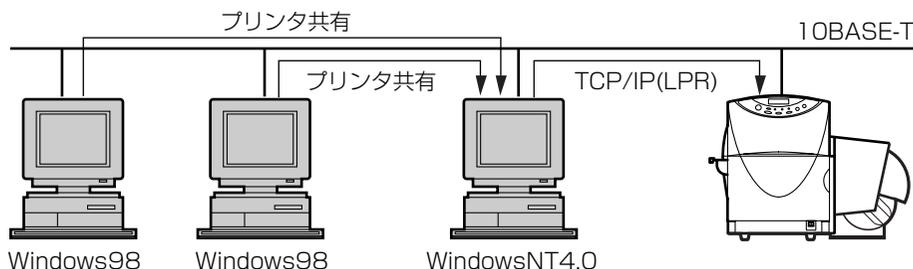


Windows 98クライアントに「CAILPR」「プリンタドライバ→LX 750」「ステータスマニター→LX 750」をインストールします。

1台のWindows 98クライアントに「CAILPR」をインストールしておけば、Windows 98のプリンタ共有機能で、他のWindows 98クライアントからLX 750を共有利用することができます。この場合、OSの制限から同時に共有できるクライアントは10台までに制限されます。

ネットワーク構成

(Windows 98・Windows NT4.0)



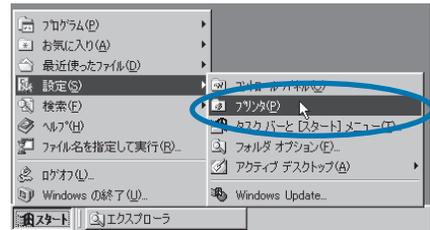
Windows 98クライアントに「プリンタドライバ→LX 750」「ステータスマニター→LX 750」をインストールします。Windows NT4.0に「プリンタドライバ→LX 750」をインストールします。

Windows NT4.0のプリンタ共有機能で、他のWindows 98クライアントからLX 750を共有利用することができます。但し、Windows NT4.0がWorkstation版の場合、OSの制限から同時に共有利用できるクライアントの台数は10台までに制限されます。Server版の場合、同時に共有利用できるクライアント数は購入済みクライアントライセンス数により制限されます。

Windows 98/95 用プリンタドライバ

■ パラレルインタフェースで使う場合

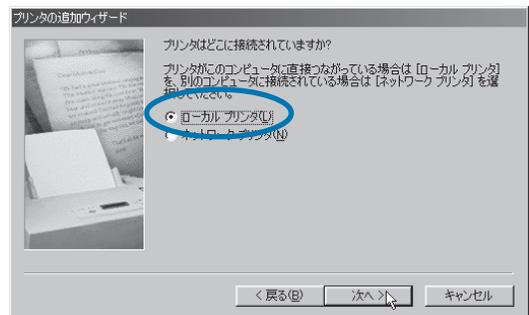
- 1** スタートメニューで [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタフォルダが表示されます。



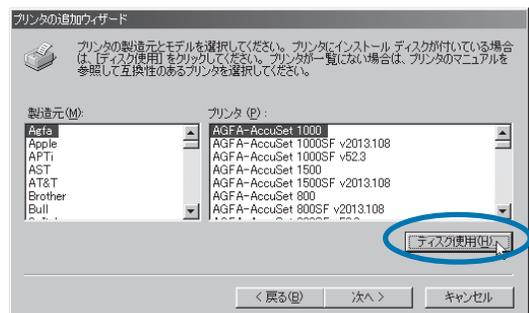
- 2** [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
プリンタの追加ウィザードが表示されます。



- 3** [次へ] をクリックし、プリンタの接続先を選択して [次へ] をクリックします。
お使いのパソコンに接続して使用する場合は [ローカルプリンタ] を選択します。

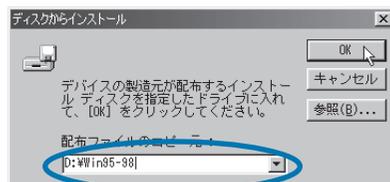


- 4** [ディスク使用] をクリックします。
[ディスクからインストール] ダイアログが表示されます。

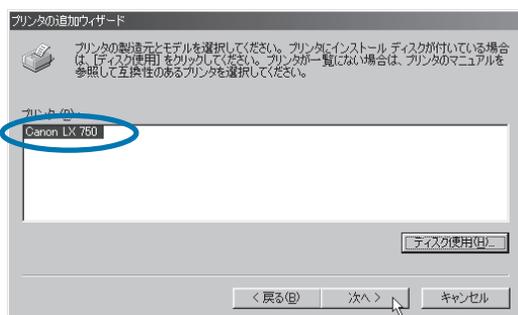


5 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

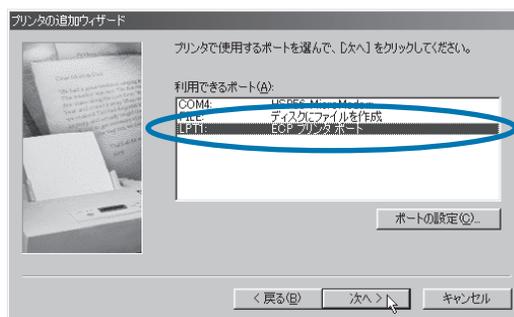
6 【配布ファイルのコピー元】に「D:¥Win95-98」と入力して【OK】をクリックします。
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



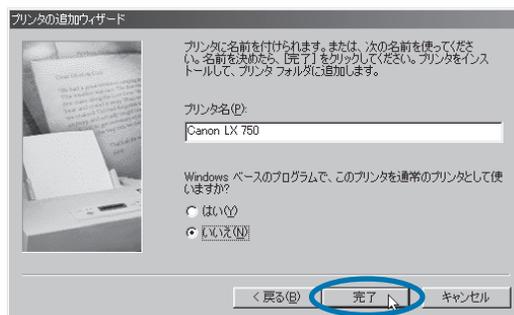
7 【Canon LX 750】を選択して【次へ>】をクリックします。



8 【LPT1: ECPプリンタポート】を選択して【次へ>】をクリックします。
パラレルインタフェースの設定がECPポートの場合です。



9 【完了】をクリックします。
ファイルのコピーが行われ、プリンタドライバのインストールが行われます。



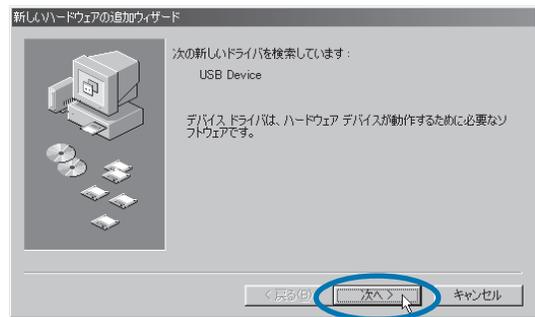
■ USB インタフェースで使う場合

USB インタフェースは、Windows 98 でのみお使いいただくことができます。

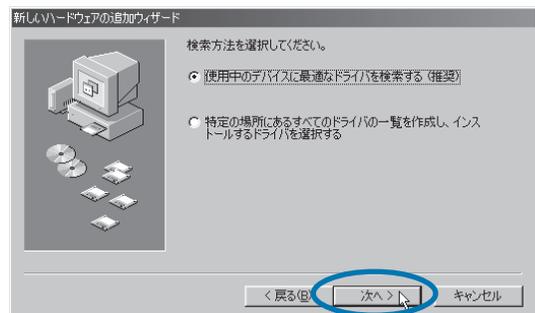
1 Windows 98/95 用プリンタドライバの「パラレルインタフェースで使う場合」(→P.17) の手順 1～手順9を参考に、プリンタドライバをインストールします。

2 USB ケーブルが接続されていない状態で、パソコンと本機を起動します。

3 パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
本機が自動的に検出され、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。



4 [次へ>] をクリックし、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して [次へ>] をクリックします。

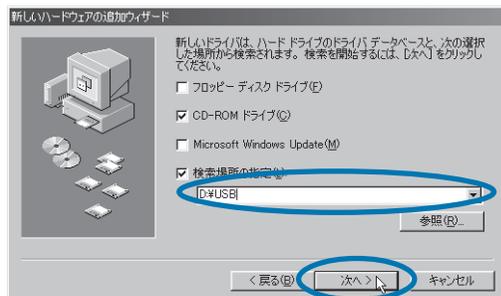


5 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

6

【CD-ROMドライブ】と【検索場所の指定】をクリックしてチェックマークを付け、ボックスに「D:¥USB」と入力して【次へ】をクリックします。

「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



7

【次へ>】を何度かクリックし、「新しいハードウェアがインストールされました」と表示されたところで【完了】ボタンをクリックします。

8

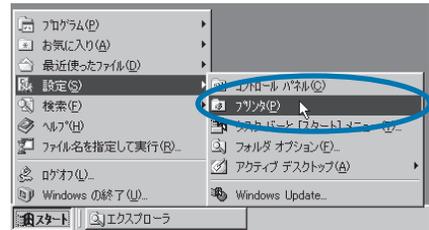
パソコンを再起動します。

Windows NT 用プリンタドライバ

Windows NT では、本機をパラレルインタフェースまたは 10BASE-T で接続します。
USB インタフェースではお使いになれません。

1 スタートメニューで [設定] - [プリンタ] を選択します。

プリンタフォルダが表示されます。



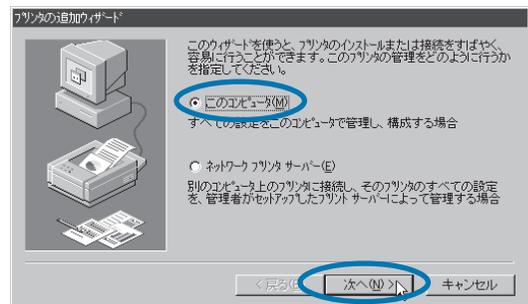
2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが表示されます。



3 プリンタの管理方法を選択して [次へ] をクリックします。

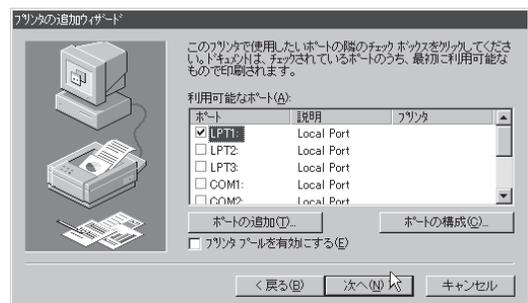
お使いのパソコンに接続して使用する場合は
[このコンピュータ] を選択します。



4 使用するポートを選択して [次へ] をクリックします。

パラレルインタフェースで接続する場合は、
[LPT1:] を選択します。

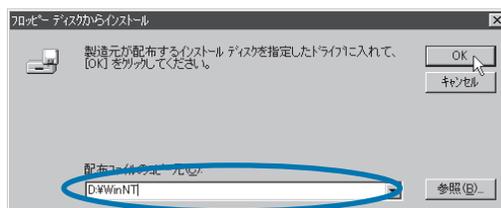
10BASE-T で接続する場合は、[ポートの追加] をクリックし、[LPR Port] を選択して [新しいポート] をクリックし、IP アドレスと、サーバーのプリンタ名 (LP) を入力します。
[LPR Port] が選択できない場合は Windows NT のマニュアルをお読みください。



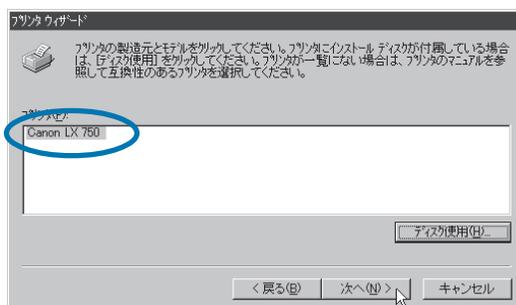
5 [ディスク使用] をクリックします。
[フロッピーディスクからインストール] ダイアログが表示されます。

6 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

7 [配布ファイルのコピー元] に「D:¥WinNT」と入力して [OK] をクリックします。
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。

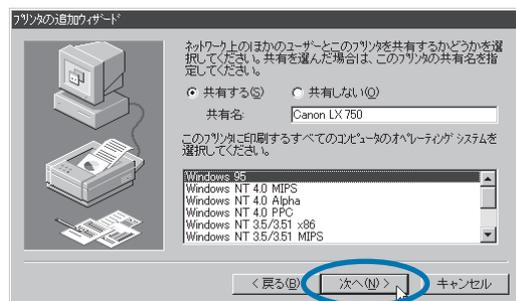


8 [Canon LX 750] を選択して [次へ>] をクリックします。



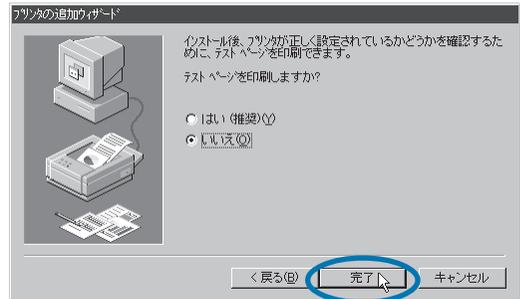
9 プリンタ名を確認して [次へ>] をクリックします。

10 プリンタを他のパソコンからも共有する場合は [共有する] を選択し、[次へ>] をクリックします。
共有する場合は、[共有名] を入力し、共有する側のパソコンの OS を選択しておきます。



11

テストパターン印刷で【いいえ】を選択し、【完了】をクリックします。



ステータスマニタ

ステータスマニタは、Windows 98のみでお使いになれます。Windows 95/NTではお使いになれません。



メモ

本機をパラレルインタフェースで接続してお使いの場合、パソコン側のパラレルインタフェースが片方向通信に設定されているとステータスマニタの機能は動作しません。パラレルインタフェースの設定が可能なパソコンでは、必ず双方向通信に設定してください。

1

付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

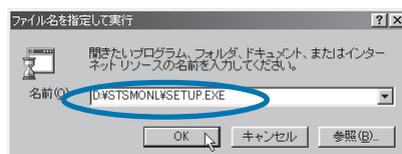
2

スタートメニューで【ファイル名を指定して実行】を選択します。

3

[D:¥STSMONL¥SETUP.EXE]と入力して【OK】をクリックします。

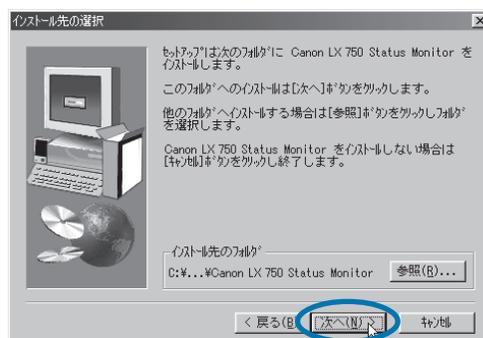
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



4

【次へ>】をクリックし、インストール先のフォルダを確認して【次へ>】をクリックします。

インストール先を変更するときは【参照】をクリックして任意のインストール先フォルダを指定してください。



5

プログラムフォルダ名を確認して【次へ】をクリックします。

6

【完了】をクリックします。

CAILPRソフト

CAILPRソフトは、本機を 10BASE-T でローカルエリアネットワークに接続したときに、Windows98/95 から直接本機を使用するために使います。

CAILPRソフトをインストールすることによって新しいポートがWindowsに用意されますので、プリンタドライバのプロパティで [詳細] タブをクリックし、[印刷先のポート] で「CAILPR」を選択してお使いください。



インストール中に本機の IP アドレスを入力する必要があります。
あらかじめネットワーク管理者に確認しておいてください。

1 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

2 スタートメニューで [ファイル名を指定して実行] を選択します。

3 [D:¥LPR¥SETUP.EXE] と入力して [OK] をクリックします。
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



4 画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

用紙のセット

用紙はカラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。

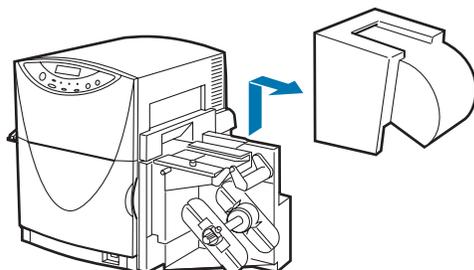
1

オンライン キーを押します。
表示パネルに“オフライン”と表示されます。

オフライン

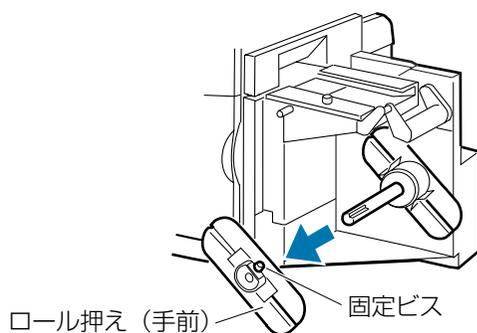
2

ロールカバーを上方に持ち上げて取り外します。



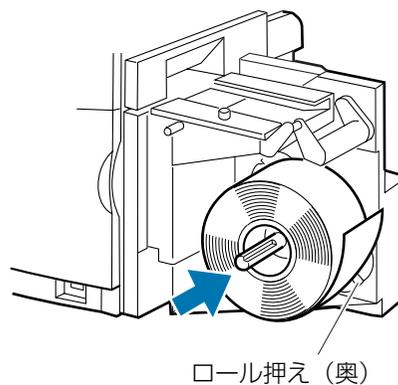
3

ロール押え（手前）の固定ビスをゆるめ、ロール押えを取り外します。



4

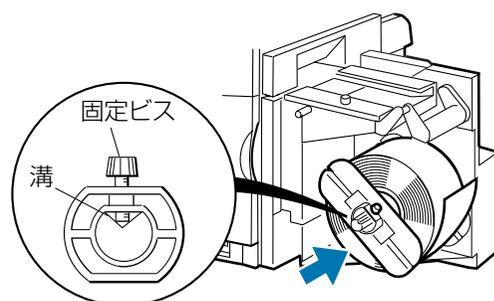
用紙を巻き取り軸にセットします。
用紙の芯が、確実にロール押え（奥）にはめこまれるようにセットしてください。



5

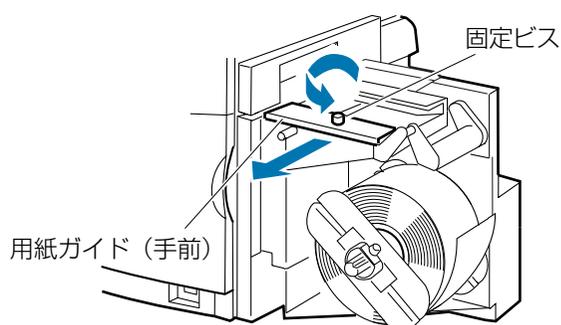
ロール押え（手前）を巻き取り軸にセットし、用紙に軽く押し付けながら固定ビスを締め付けます。

ロール押えは、固定ビスと巻き取り軸の溝を合わせるようにしてセットしてください。



6

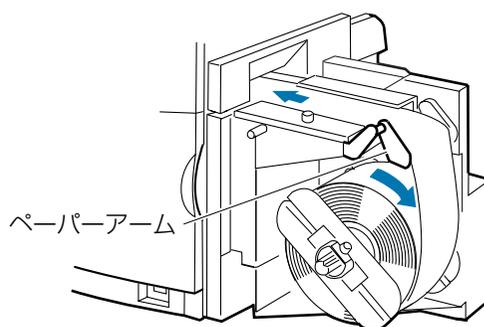
用紙ガイド（手前）の固定ビスを緩め、用紙ガイドを手前に止まるまで動かします。



7

用紙を引き出し、ペーパーアームの上を通してから用紙ガイドの間に用紙をセットします。

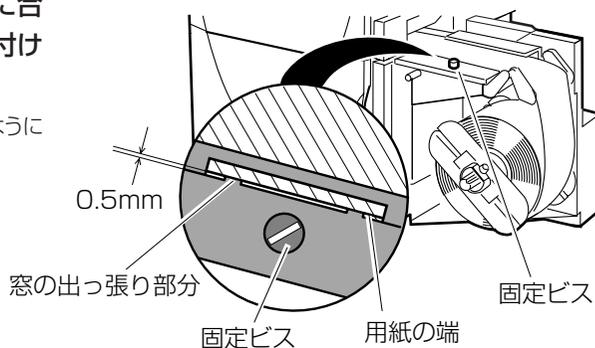
用紙に大きなたるみがあるとロールカバーと干渉しますので、用紙を巻いて適度にたるみを取ってください。



8

用紙ガイド（手前）を用紙の幅に合わせて移動し、固定ビスを締め付けます。

窓の引っ張り部分程の余裕を持たせるように用紙ガイドの位置を決めてください。



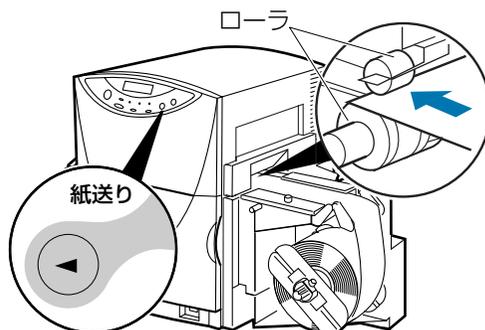
9

用紙の先端を奥のローラに突き当てながら **紙送り** キー (◀) を短く押します。

用紙の先端がPHSユニット内に送り込まれます。

用紙が送り込まれないときは、用紙の先端がローラに接触していることを確認して同じ操作を繰り返してください。

なお、**紙送り** キー (◀) を1秒以上押し続けると、用紙が連続して送られますので、ご注意ください。



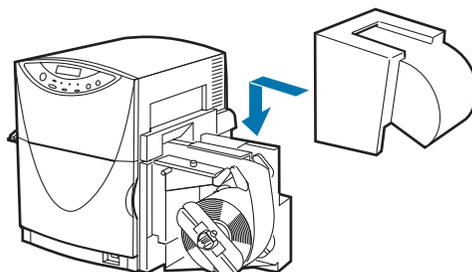
メモ

用紙の先端が確実に奥のローラに突き当てられていれば、**紙送り** キー (◀) を押さなくても印刷データを受信したときに用紙はPHSユニット内に送り込まれます。

10

ロールカバーをセットします。

オンライン キーを押して、オンライン状態にしてください。



メモ

用紙がうまくセットされていなかった場合、印刷を開始した時点で表示パネルに“ヨウシ セット テンケン”というメッセージが表示され、印刷が中断します。その場合は、用紙を正しくセットしなおして **オンライン** キーを押してください。エラーが解除され、印刷が開始されます。



禁止

ロールカバーを外したままで印刷しないでください。

用紙はカラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンタ本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。

用紙を保管する場合は、用紙の変色等を防ぐために付属のビニール袋の中に入れ、直射日光に当たらない場所に保管してください。また、開封した用紙は、できるだけ短期間で使い切ることをおすすめします。

カラーラベルプリンタ専用紙各々の印字可能領域外には、印刷しないでください。

(ユーザーズガイド 第3章 [用紙] タブの設定項目)

実際にセットした用紙と、プリンタドライバに設定されている用紙が、同じ用紙(サイズ)に設定されていることを確認してください。

インクカートリッジのセット

本プリンタには、4色のインクカートリッジが必要です。
以下の方法でインクカートリッジをセットしてください。



注意

インクカートリッジはカラーラベルプリンタ専用インクカートリッジを使用してください。
インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁止

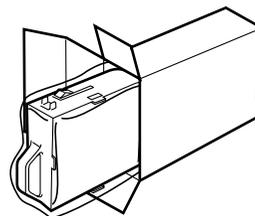
インクカートリッジの挿入部内には針部があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。
インクカートリッジを保管する場合は直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
インクカートリッジは、1年を目安に交換することをおすすめします。また使用していないカートリッジは使用するときまで開封しないで保管してください。
インクカートリッジは、一度セットしたら次回交換時まで、抜き差しは避けてください。

1

前ドアを開けます。

2

新しいインクカートリッジを用意します。

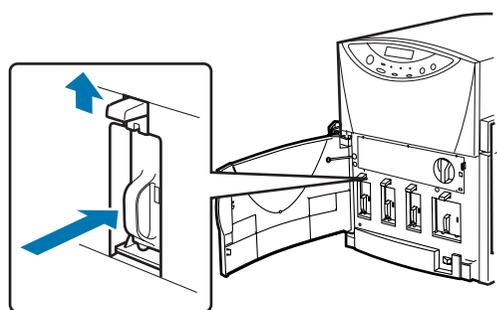


3

インクカートリッジをセットします。

カートリッジはカチッと鳴ってレバーが上がるまで確実に押し込んでください。

左からイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (BK) の順です。



メモ

新しいインクカートリッジをセットするときは、左右に5・6回程度軽く振ってから差し込んでください。

4

すべてのカートリッジをセットしたことを確認し、前ドアを閉めます。

困ったときは

思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときは、該当するトラブルの対処方法をお試しください。

なお、ここでは代表的なトラブルのみ記載しておりますので、詳しくは「ユーザーズガイド」の「第6章 困ったときは」を御覧ください。

■ 電源が入らない

メイン電源スイッチがオフ（○位置）になっていませんか	メイン電源スイッチをオン（I位置）にしてください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかり差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作するときはプリンタ本体の故障が考えられますので、お買い求めの販売店またはお客様ご相談窓口（→巻末）までご相談ください。

■ 印刷が始まらない

前ドアが開いていませんか	前ドアを正しく閉じてください。 PHS ユニットロックハンドルが「ロック」位置になっていないと前ドアは閉まりません。
パソコンと接続されていますか	パソコンとプリンタをインタフェースケーブルで正しく接続して、ドライバの設定を確認してください。
用紙をセットしましたか	用紙を正しくセットしてください。
インクカートリッジをセットしましたか	インクカートリッジを正しくセットしてください。
パソコン側で本機のプリンタドライバを選んでありますか	アプリケーションソフトで印刷を開始するときに、「Canon LX 750」プリンタを選んでください。
印刷先のポートの設定は合っていますか	プリンタドライバの「詳細」タブの「印刷先のポート」で、正しいポートが選ばれているか確認してください。

■ 印刷品質が悪い

画像にすじ状の線が現れる	プリンタドライバのプロパティ画面で「ユーティリティ」を選び、「クリーニング」を実行してみてください。 または、オフラインにして（ クリーニング ）キーを押してみてください。 詳しくは「ユーザーズガイド」の「第5章 メンテナンス」をお読みください。
画像にすじ状の色むらが現れる	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で、「クオリティ」タブの「メディア」で選択されている設定値と、プリンタにセットされている用紙の紙質が合っているか確認してください。 詳しくは「ユーザーズガイド」の「第3章 プリンタドライバの使いかた」をお読みください。

仕 様

印字方式	バブルジェット記録方式			
印字色	フルカラー			
解像度	600dpi×600dpi			
印字速度	フルカラー	50、80、100mm/秒・可変（オートモード） 50～100mm/秒・10単位で設定（マニュアルモード）		
	モノカラー	100mm/秒		
最大印字領域	102 (W) mm×700 (L) mm			
印字余白	先端 1.5mm、後端 1.5mm 左右 3.5mm（セパレータ込み）			
印字ヘッド	2,432ノズル×4本/4色（有効ノズル2,400）			
用紙	用紙種	カラーラベルプリンタ専用紙（マットコート紙、光沢紙）		
	用紙サイズ	幅50mm～109mm、長さ38mm～1000mm		
	紙厚	0.20mm～0.24mm		
	巻外径／巻芯径	最大200mm以内／紙管76.2mm		
使用インク	種類	専用インクカートリッジ ブラック（Bk） 専用インクカートリッジ イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）		
	保管期限	1年：0°C・5%～35°C・90%（ただし、結露なきこと）		
インタフェース	IEEE1284準拠パラレルインタフェース	ユニバーサルシリアルバス（USB）	IEEE802.3 10BASE-T（TCP/IP、IPX/SPX）	
インタフェースコネクタ	アンフェノール57-40360相当	USB（シリーズB）レセプタクル	RJ45-8ピン・モジュラ・コネクタ	
推奨プリンタケーブル	素材	AWG28以上	AWG28以上	AWG22～AWG26
	タイプ	ツイストペアシールド付きケーブル	ツイストペアシールドケーブル（フルスピード対応）	シールドなしツイストペアケーブル
	長さ	最大2.0m	最大2.0m	100m以下*1
	コネクタ	アンフェノール30360相当	USB（シリーズB）プラグ	RJ45-8ピン・モジュラ・コネクタ
本体サイズ	幅690×奥行き440×高さ490mm			
重量	約34Kg（本体のみ）			
設置環境	15°C・10%～30°C・80%（ただし、結露なきこと）			
消費電力	通常モード時	130W（Max）		
	節電モード時	18W（Max）		
オプション	オートカッター			

※1 10BASE-Tケーブルで使用する場合は、HUBへの接続は規格上4段までです。
また、必要以上にケーブルを長くしないことをお奨めします。

メ 毛 欄
